

ディプロマ・ポリシー 生物システム応用科学専攻	
観点	
A	① 生物システム応用科学の基盤となる、農学、工学、理学に関する多面的で基礎的な知識や実験・計測技術を幅広く身につけていること。 ② 物質機能システム、生体機構情報システム、または循環生産システムに関する最先端の専門知識と実験・計測技術を身につけていること。
B	生物あるいは生態系のモデルとして、その本質を抽出およびシステム化し、そこから新たな生産を創出するという生物システム応用科学の見地に立ち、各専門分野や融合分野において課題を見出し、解決策を立案し、実践する能力を身につけていること。
C	① 研究成果発表のための資料作成方法、実験データの整理法、発表方法を習得し、実践的なプレゼンテーション能力や論理性に基づいた的確な質疑応答の能力を身につけていること。 ② 知的財産権、国際規格、企業の社会的責任などの社会的知識を身につけ、研究者や技術者の社会的使命を理解していること。

博士前期（修士）課程

科目区分	授業科目	観点				
		A	B	C		
学際交流科目	生物システム応用科学研究概論	○				
融合基礎科目	基礎技術演習Ⅰ	○		○		
	基礎技術演習Ⅱ	○				
分野交流科目	実践発表Ⅰ			○		
	実践発表Ⅱ			○		
起業科目	アントレプレナー特論Ⅰ			○		
	アントレプレナー特論Ⅱ			○		
	アントレプレナー特論Ⅲ			○		
物質機能システムコース	専門分野科目	物質機能設計特論Ⅰ	○			
		物質機能設計特論Ⅱ	○			
		物質機能応用特論Ⅰ	○			
		物質機能応用特論Ⅱ	○			
		物質エネルギーシステム特論Ⅰ	○			
		物質エネルギーシステム特論Ⅱ	○			
		超分子機能システム特論Ⅰ	○			
		超分子機能システム特論Ⅱ	○			
	アドバンスド教育科目	物質機能システム学アドバンスドⅠ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅡ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅢ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅣ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅤ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅥ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅦ	○			
		物質機能システム学アドバンスドⅧ	○			
	論文研究など	物質機能システム学セミナー		○		
		物質機能システム学特別実験		○		
		物質機能システム学特別研究		○		
	生体機構情報システムコース	専門分野科目	生体情報反応システム特論Ⅰ	○		
			生体情報反応システム特論Ⅱ	○		
			神経機能情報ネットワーク特論Ⅰ	○		
			神経機能情報ネットワーク特論Ⅱ	○		
			生体モデル知覚システム特論Ⅰ	○		
			生体モデル知覚システム特論Ⅱ	○		
生体機能運動システム特論Ⅰ			○			
生体機能運動システム特論Ⅱ			○			
アドバンスド教育科目			生体機構情報システム学アドバンスドⅠ	○		
			生体機構情報システム学アドバンスドⅡ	○		
		生体機構情報システム学アドバンスドⅢ	○			
		生体機構情報システム学アドバンスドⅣ	○			
		生体機構情報システム学アドバンスドⅤ	○			
		生体機構情報システム学アドバンスドⅥ	○			
		生体機構情報システム学アドバンスドⅦ	○			
		生体機構情報システム学アドバンスドⅧ	○			
論文研究など		生体機構情報システム学セミナー		○		
		生体機構情報システム学特別実験		○		
		生体機構情報システム学特別研究		○		

科目区分	授業科目	観点			
		A	B	C	
循環生産システムコース	専門分野科目	生態系型生産システム特論Ⅰ	○		
		生態系型生産システム特論Ⅱ	○		
		生物相関システム特論Ⅰ	○		
		生物相関システム特論Ⅱ	○		
		資源循環利用システム特論Ⅰ	○		
		資源循環利用システム特論Ⅱ	○		
		生物・環境計測システム特論Ⅰ	○		
		生物・環境計測システム特論Ⅱ	○		
	アドバンスド教育科目	循環生産システム学アドバンスドⅠ	○		
		循環生産システム学アドバンスドⅡ	○		
		循環生産システム学アドバンスドⅢ	○		
		循環生産システム学アドバンスドⅣ	○		
		循環生産システム学アドバンスドⅤ	○		
		循環生産システム学アドバンスドⅥ	○		
論文研究など	循環生産システム学アドバンスドⅦ	○			
	循環生産システム学アドバンスドⅧ	○			
	循環生産システム学セミナー		○		
	循環生産システム学特別実験		○		
	循環生産システム学特別研究		○		

博士後期課程

科目区分	授業科目	観点			
		A	B	C	
分野交流科目	実践英語発表Ⅰ			○	
	実践英語発表Ⅱ			○	
物質機能システムコース	専門分野科目	機能材料設計特論	○		
		物質機能開発特論	○		
		機能物質設計特論	○		
		触媒機能応用特論	○		
		エネルギー材料システム特論	○		
		反応工学特論	○		
		分子システム設計特論	○		
		生物分子分光学特論	○		
	論文研究など	物質機能システム学特別セミナー	○		○
		物質機能システム学特別計画研究		○	
生体機構情報システムコース	専門分野科目	生命機械システム特論	○		
		環境エネルギーシステム特論	○		
		生体システム特論	○		
		生体情報処理特論	○		
		視覚信号処理特論	○		
		視覚情報伝達特論	○		
		人工物創成システム特論	○		
		数値制御運動特論	○		
	論文研究など	生体機構情報システム学特別セミナー	○		○
		生体機構情報システム学特別計画研究		○	
循環生産システムコース	専門分野科目	ファイトテクノロジー特論	○		
		土壌生態系機能解析特論	○		
		生物特異的認識特論	○		
		生物コミュニケーション特論	○		
		資源生産制御特論	○		
		生物資源循環制御特論	○		
		バイオセンシング特論	○		
		生体電気計測特論	○		
	論文研究など	循環生産システム学特別セミナー	○		○
		循環生産システム学特別計画研究		○	

ディプロマ・ポリシー 共同先進健康科学専攻	
観点	
A	現象に対し、異なる学問分野から習得した多角的な視点で観察でき、それらを論理的に考察し総括する能力を身につけていること。
B	①生命科学・食科学・環境科学に関わる先端研究を推進する能力を身につけていること。 ②産業界で新製品開発や新技術開発を牽引する能力を身につけていること。
C	①高度なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を有し、国内外を問わず成果発表・広報・情報収集等に活躍できる能力を身につけていること。 ②国際基準の機器・新薬・分析法等の開発とリスク管理や審査プロセスを統括する能力を身につけていること。

博士後期課程

科目区分	授業科目	観点		
		A	B	C
専攻基軸科目	化学物質総合管理学	○		○
	生活環境総合管理学	○		○
	食農総合管理学	○		○
	感染症総合管理学	○		○
	ハザード評価学	○		○
	リスク評価学	○		○
	研究倫理	○		○
	イノベーションリーダーシップ	○		○
実践英語教育科目	Professional Communication			○
	Advanced Technical Reading and Writing			○
	Advanced Technical Presentation			○
	Workplace English			○
生命科学	獣医学概論	○	○	
	実験動物学特論	○	○	
	疾患モデル学特論	○	○	
	分子病態制御学特論	○	○	
	分子再生医学特論	○	○	
	知覚運動制御特論	○	○	
	先進がん治療特論	○	○	
	分子腫瘍学特論	○	○	
	脳・こころの健康医療科学特論	○	○	
	健康免疫学特論	○	○	
	環境バイオ分析化学特論	○	○	
	環境微生物学特論	○	○	
	環境ゲノム情報解析特論	○	○	
環境科学	植物環境工学特論	○	○	
	環境生物資源特論	○	○	
	環境生理学特論	○	○	
	生活習慣病予防学特論	○	○	
	食理健康学特論	○	○	
食科学	生体分子反応特論	○	○	
	実践生物統計学	○	○	
	時間栄養・薬理学特論	○	○	
演習科目	先進健康科学計画研究	○	○	○
	先進健康科学セミナーI	○	○	○
	先進健康科学セミナーII	○	○	○
	先進健康科学セミナーIII	○	○	○
	実践プレゼンテーション特論I	○	○	○
	実践プレゼンテーション特論II	○	○	○
	実地研修研究特論	○	○	○